

(仮称) 田尻町総合文化センター整備事業についての提言書

令和5年9月

田尻町社会教育委員会

はじめに

田尻町では、令和元年度に策定した「第5次総合計画」に基づき、生涯学習を推進するため、また、文化・芸術に触れる環境の充実、文化芸術活動の活性化を図るための施策を展開していくこととしています。

そして、(仮称)田尻町総合文化センター(以下「総合文化センター」という。)は、田尻町の文化を発信する拠点施設として、多様な活動や交流の創出、学びの機会・場所の提供と生涯学習を推進していくうえで大きな役割を担うことが期待されます。

社会教育委員会では、この総合文化センターが田尻町の生涯学習推進の実現に果たすべき役割について、現状や課題の確認を行いました。そして、各委員が議論し、これを取りまとめたものをもって提言することとしました。

(1) 総合文化センター整備事業の推進について

田尻町立公民館は、田尻町における生涯学習を推進する拠点施設として中心的な役割を果たしてきたものの、施設・設備の老朽化・機能の不足、安全面、利便性に課題があることから、アンケートやワークショップなど住民・団体の意見を踏まえ、令和2年度に（仮称）田尻町総合文化センター基本構想を、令和3年度に基本計画を定め、こどもから高齢者まで各世代が集い、生涯学習を通じて共に学び、文化に触れるとともに田尻町の文化を発信する拠点施設として、整備を進めていくこととなったところである。

総合文化センターは、単なる公民館をリニューアルするものではなく、田尻町における生涯学習活動を推進していく上での課題を解決しながら、ホール機能・生涯学習機能の強化、図書館の整備を図り、複合施設のメリットを十分に活用し、多様な活動、交流の創出、新たなサービスの提供や発信が図られることが期待されているところであり、住民アンケート等においても多くの住民からもこれら機能を備える総合文化センターに期待するところが多い。総合文化センター整備に当たっては、これまで積み重ねてきた過程をしっかりと踏まえ、住民の期待に応えられるよう、確実に事業を進めていく必要がある。

一方、日常において、生涯学習活動を行っていない、関心のない人も一定数存在する。また、総合文化センターが整備されることについても、関心のない人、又は知らない人もいる。これらの人に対し、総合文化センターが整備された際は、施設を訪れ、事業に参加したいと思えるよう、より一層の周知が求められる。より多くの人に総合文化センター整備事業への理解を促し、期待感が高められるよう、より積極的な広報活動を行う必要がある。

(2) 総合文化センターを活用した生涯学習活動の推進について

田尻町では、コンサートや舞台発表などを行う適当な施設がなく、主に公民館大ホールを会場とし、これら事業を実施してきたところであるが、施設、音響・照明装置などが十分でないため、発表会・展示会等を近隣市

町の施設で開催せざるを得ない状況にある。また、前述の事由により、文化芸術分野で活躍する専門の活動家・団体を招いたコンサート等の開催が出来ず、住民に文化・芸術に触れる機会を十分に提供できていない。

総合文化センターの整備に当たり、特にホール施設については、多くの用途に対応できるよう、舞台、リハーサル室、控室等を整備し、音響・照明装置等、必要な機能を備え、田尻町で活躍する人・団体、そして小・中学校がこの総合文化センターの場で、発表できる場を提供できるよう整備していくことが求められる。

総合文化センターにおいて、幅広い世代に質の高い文化・芸術を提供するほか、今まで触れてこなかった方にも文化・芸術を身近に感じてもらい、関心・理解を深めていただき、施設を十分に活用できるよう、積極的な事業展開を図っていく必要がある。また、合唱コンクールなどの学校行事、児童・生徒の作品展示の場として総合文化センターが活用され、学校と地域との交流が図られることを期待する。

(3) 総合文化センターを活用した地域の人材の育成について

田尻町では、公民館利用者連絡協議会、文化協会をはじめ、多くの団体が本町の生涯学習活動を担っているが、団体への加入者が減少し、人材の確保が課題となっている。団体活動を活性化させ、生涯学習活動を推進していくためには、指導者の確保や人材の養成が必要不可欠である。また、生涯学習活動団体の指導者の確保や人材の養成に当たっては、地域で活躍する人の経験や知識を次世代に担うこども達や若者に伝える人材の発掘・活用する仕組みづくりが必要となっている。

総合文化センターは、その施設・機能だけでなく、運用においても生涯学習活動の推進を図っていくための取組みが求められる。生涯学習団体の活動を支援・協力するとともに、複合施設の特徴を活かした連携が図られ、活動・交流の場や機会を提供するなどが図られるよう運営面での支援が求められる。また、盆踊りや祭囃子といった田尻町の郷土芸能・伝統文化を地域で活躍する人の技能・知識が次世代を担うこども・若者に承継されるよう、指導者の確保と後継者の育成を図るとともに、交流・練習の場を確保するなど、活動の支援が求められる。

おわりに

人生 100 年時代の到来に向けて、より長く豊かな人生を送るためには、誰もが、いつでも、どこでも学ぶことができ、その学びを通じて自己実現や生活の質の向上を図るとともに、ともに学び交流した人たちとコミュニティを形成し、学んだ知識・経験をもとに地域の担い手となり、地域に還元していきけるよう環境づくりを進めていくことが重要です。

総合文化センター整備事業は、「生涯学習によるひとを育み未来につなぐまちづくり」の実現に大きく寄与するものであると理解しています。

この提言を踏まえ、総合文化センター整備事業がより良い方向で進捗し、田尻町が目指す生涯学習の実現につながることを期待します。

経過

日時	会議等名	内容
令和5年8月29日	第2回社会教育委員会議	提言に向けた検討について
令和5年9月19日	第3回社会教育委員会議	提言書（案）について
令和5年9月25日	提言書の提出	教育長に手交

委員名簿

	氏名	区分
委員長	板谷 周治	社会教育関係
副委員長	大塚 幸子	社会教育関係
委員	立野 幸一	社会教育関係
委員	的場 紀子	家庭教育関係
委員	明貝 一平	学識経験者
委員	池本 勝利	学校教育関係
委員	織田 容子	学校教育関係